

|   |  |  |          |                                       |        |
|---|--|--|----------|---------------------------------------|--------|
| <b>タイトル<br/>(活動概要)</b>  | 108 ネット社会を考える<br>(ブレインストーミングの手法により)  | <b>アプローチ<br/>(関連する力)</b>   | 「集団づくり」⑩ |                                       |        |
| <b>タイミング<br/>(実施時期)</b>   | 情報モラル・マナー教育との<br>関連から  | <b>活動<br/>場所</b>   | 教室       | <b>所要<br/>時間</b>                      | 45～50分 |
| <b>対象学年</b>   | 幼・小低・小中・ <b>小高</b><br><b>中1</b> ・ <b>中2</b> ・ <b>中3</b> ・高   | <b>対象<br/>規模</b>   | 学級       | <b>活動<br/>場面</b>                      | 道徳・国語  |
| <b>活動の<br/>ねらい</b>  | <p>&lt;背景&gt;急速な子ども専用のケータイの普及により、所持することの責任の自覚のないまま、様々なトラブルや犯罪被害に巻き込まれる事例が多発している</p> <p>・ケータイ・ネットの危険性を知り、様々な犯罪やトラブルへの対処の仕方についての考えを出し合い、みんなで解決方法について話し合うことができる</p> <p>・自律の精神を重んじ自分の意志と責任において誠実に実行しようとする態度を養う</p> |  |          |                                       |        |
| <b>準備</b>   | ・事前アンケート ・グラフ「小学生の悩み」 ・カード ・フェルトペン   |  |          |                                       |        |
| <b>学 習・活 動</b>  |  | <b>支援の観点・留意点等</b>  |          | <b>資料等</b>                            |        |
| 1 導入  |  |  |          |                                       |        |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">           ネットの問題について話し合い、解決策を考えよう         </div>  |  |  |          |                                       |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケータイ・ネットの危険性について、身近な問題としてとらえられているかをふり返る</li> </ul>  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートの結果をまとめ、話し合いの資料にできるようにしておく(新聞等の報道資料を活用する方法もある)</li> </ul>   |          | 事前アンケート<br>新聞(報道資料)                   |        |
| 2 主活動   |  |  |          |                                       |        |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>ケータイ・ネットの問題を資料「ケータイ社会の友だち？」から考える</p> <p>問1 二人がメールを通して仲良くなっていったのはなぜ？</p> <p>問2 メールが心に大きな傷を残してしまうのはどうして？</p> <p>問3 ケータイ・ネットのトラブルや犯罪被害に巻き込まれないようにするためには？</p> </div> |  |  |          |                                       |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで話し合い意見を出し合う</li> <li>・司会1名、書記1名を決め、話し合ったことを付箋紙に書き、分類シートにはる</li> <li>○付箋紙进行分类する</li> <li>・問3については、グループごとにカードに「解決方法」記入し、黒板の分類表に貼り付け、クラス全体で意見交換する</li> </ul>  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5～6人のグループとする</li> </ul> <p><b>【分類法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールづくり・友だちづくり</li> <li>情報モラル・マナー・その他などのカテゴリーにまとめる</li> </ul> |          | 資料「ケータイ社会の友だちって？」                     |        |
| 3 ふり返り  |  |  |          |                                       |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かったことや今後の自分の行動について考える</li> </ul>   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の責任を自覚し、自律的に問題解決に取り組む態度が大切なことに気付くようにする</li> <li>・今の自分を振り返り、今の自分を乗り越えるための手がかりをもたせたい</li> </ul>  |          | 黒板掲示<br>「ブレインストーミングの方法」<br>カード(黒板掲示用) |        |
| <b>配慮事項</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由な話し合いの雰囲気を尊重させる</li> <li>・出された意見に対する批判やコメントはしない</li> <li>・自分の問題として受け止められるように配慮する</li> </ul>  |  |          |                                       |        |

## ブレインストーミングの方法

- ①グループになる。
- ②記録者を決める。
- ③出されたテーマに対し、みんなが自由に多くのアイデアを出す。
- ④出されたアイデアに対して批判・コメントはしない。
- ⑤アイデアの多いところから発表する。

## ブレインストーミングとは

単なる思いつきでもみんなで自由に発言していくところから 新しい発想が生まれてくるとい方法です。既存の概念を打ち破り、自分の意識下に眠っている発想を引き出すことができます。

1. たくさんの意見を出すこと
2. 他人がどんな発言をしようと、OK
3. 自由に意見を出し合う雰囲気づくりを重視
4. 出された意見から、課題を捉え直す

## 事前アンケート

1. あなたは、自分専用の携帯電話を持っていますか？  
持っている      持っていない
2. あなたはこれまでに、ケータイメールなどで嫌な思いをしたことがありますか？  
(ケータイのある人のみ)  
ある      ない  
それはどんなことですか？
3. あなたは、家族の人とケータイを使うルールを決めていますか？  
はい      いいえ  
それはどんなことですか？
4. ケータイを持つことのメリットとデメリットは何ですか？  
<メリット>  
<デメリット>

## ネット社会の友だちって？

とてもがんばりやさんだったあさ子が、教室で孤立するようになったのは、6年生の冬、大好きだった祖母が不慮の事故にあい他界したころからでした。中学校へ入学してから次第に学校を休みがちになり、もう一年以上も学校を休んでいます。

両親は仕事で帰宅時間が遅くなることが多く、兄弟のないあさ子は一人で食事を済ませることも多くなりました。いつしか、母親から連絡用にと渡されたケータイで寂しさをまぎらせるようになったと、あさ子は振り返ります。

ケータイのプロフィールサイトの閲覧はあさ子の日課となり、ネットで知り合った相手と一日に何通もメールのやりとりを行うようになりました。また、自らのサイトを開設し、ゲストブックへのいろいろな書き込みに、様々な人とのつながりを感じるようになりました。そんな中で、自分もあさ子と同じ不登校であると打ち明けてくれた友だちもできました。同じ中学校へ通う優希です。

ふたりの間では「そろそろ、学校へ行きたいねー！」「そうだね、学校で直接にいろんな話もしたいし・・・」などの励まし合いが幾度かあり、学校ではほとんど話もしたことがなかった二人は、ネットを通じて次第になんでも話せる友人になっていきました。

ある日、あさ子は優希からの誘いで、学校近くの公園で会うことになりました。その日あさ子は、優希に会える嬉しさで朝から興奮気味でした。

しかし、待ち合わせの時間になっても公園には優希らしき女性の姿は見えませんでした。あさ子は、公園内をキョロキョロと見渡しました。

「優希はどうして来ないんだろう」と少し不安になったその時、公園の薄暗い茂みの中から野太い声で「静かにしろ」と叫びながら、若い男性が飛び出してきました。

「あっ…」あさ子は、後ろから口を押さえられ、男に押し倒されそうになりました。あさ子は男の腕を必死に振り払って逃げようともがきました。あさ子が必死になって大声で助けを求めたところ、その叫び声に気付いた人がこちらに走り寄ってきてくれ、男はそのまま逃走しました。

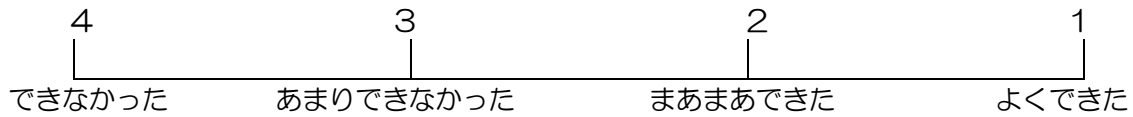
その後、あさ子はネット上の優希は「なりすまし」により、見ず知らずの男が演出していた事を知らされたのです。

ネット上の優希を親しい友だちと信じていたあさ子にとって、それはとても大きな心の傷を残す結果となってしまいました。

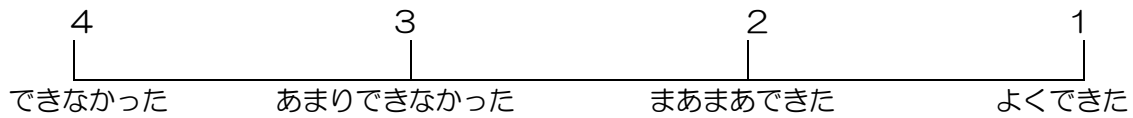
# 「 ネット社会を考える 」ふり返りシート

年 組 名前 ( )

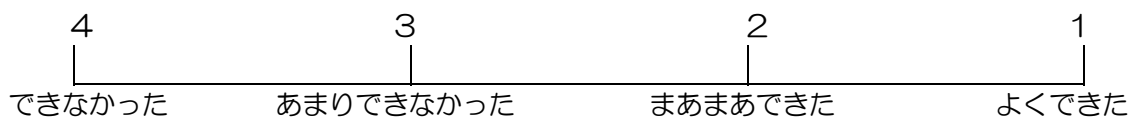
1 今日の活動は、楽しかったですか。(番号に○をつける)



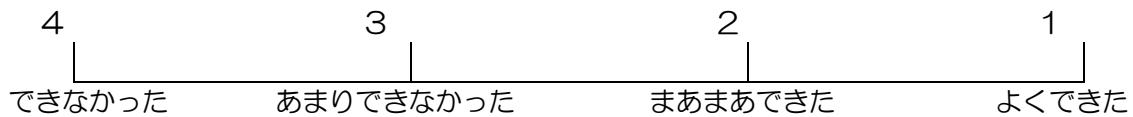
2 今日の活動は、男女関係なく協力してできましたか。



3 今日の活動では、ケータイ・ネットのトラブルを避ける方法について考えることができましたか。



4 今日の活動からケータイ・ネット問題について自らの意見をもつことができましたか



5 今日の活動で、気がついたことや感じたこと、思ったこと、学んだことがあったら書きましよう。

---

---

---

---

---

---

---

---